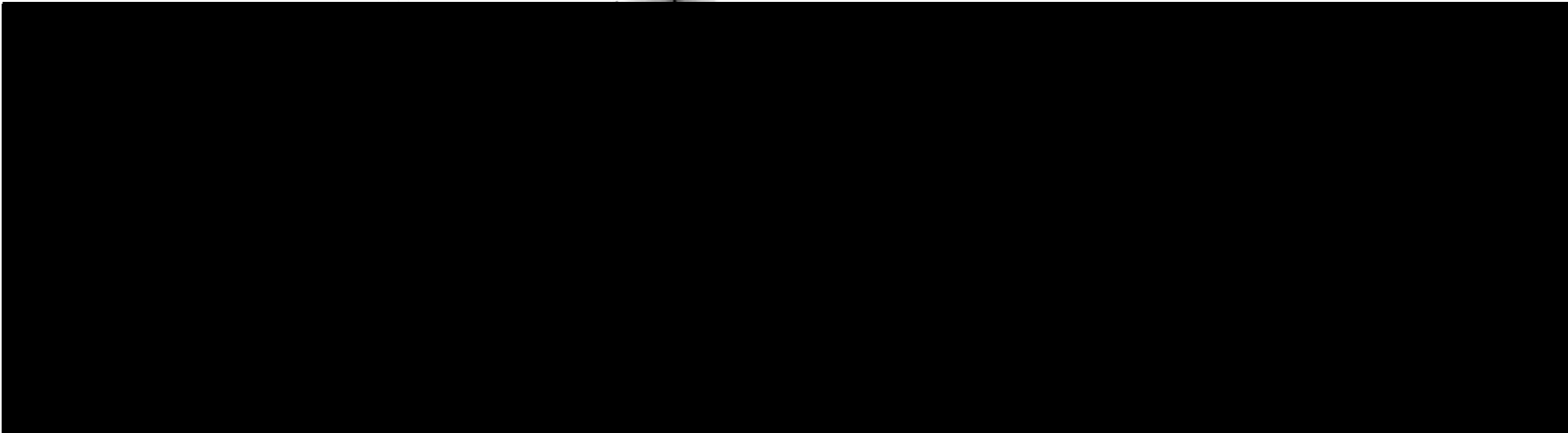


總選舉に誰れを選ぶか？



總選舉に誰れを選ぶべきか云ふ問題は、現下の一般女性にとつて最も重大な問題です。何故ならそれは、普選の斷行される
 されぬに拘はらず、また婦人參政權が通過するせぬに拘はらず、苟くも我が國土に公民權をもつ一般婦女子の當然、直面しなげ
 ればならぬ活きた問題だからです。本誌はその點に眼をつけ、廣く婦人界の諸名家に、「もし貴方が有權者ご假定して、今回の
 總選舉に誰れを選ばれるか」、またその「被選舉人の人物ならびに所屬政黨に對する御觀察」をお尋ねしたところ、集つた回答が
 全部で二十四通、うち十五通はそれぞれ思ふ人を挙げ、残りの九通が深く棄權してられるのを發見しました。選ばれた
 候補者のなかでは、田淵豊吉、吉野作造、大山郁夫、鶴見祐輔氏等の各二票を最高點とし、他は各々一票づつを獲てをります。
 一票づつの得點者の中には、馬場恒吾氏のやうな新人が現はれてゐるかと思へば、また大谷光瑞師のやうな宗教家や菊池寛氏の
 やうな文學者も推されてゐたり、中々興味を盡さないものもありました。これに對應して棄權者側も決して理由なくして棄權し
 たのでなく、皆なそれぞれ主義主張を持つてをられます。従つて此等の回答を讀むことによつて、わたくし共は今の日本の婦
 人達の政治についての實際關心を知ることが出来ると同時に、千餘名の候補者にとつてはわが婦人界の要求を知る唯一のパロメ
 ーターともなることとせう。(編輯同人)

総選挙に誰れを選ぶか



んだから堪らねえ」と、こんなことを夜警の連中が言つてゐます。

私共は小石川の住民なので、鳩山一郎さんから逸早く政見趣意書さいつたやうなものも頂戴いたしました。その外の方からはまだ別段、約束郵便のお手紙も頂いてはゐませんが、それにしても思ひ出しますのは、私もまだほんの小娘時代、異人學校に居た時分のことでした、女の宣教師が泣くほど大騒ぎをして旗を立てるやら抱き合ふやら「Miss Hanaka、お當選した！」と喜んでゐたあの有様、私は貴社からおハカキを頂戴して今更その「Miss Hanaka」のない身の上を淋しくもかなしくも思ひます。

従つて御質問はおゆるしを願ひます。

棄権

永代美知代

○

「今年は又うるさいぞ」、「まあい、加減に居留守で追つ拂ふんだれ、おがみ倒さうて

総選挙に誰れを選ぶか

